

推理 1——被害者はどこで殺された？

千里と東郷はくまなく現場を調べて回ったが、これ以上の手掛かりは得られそうになかった。

東郷 「改めて状況を確認しよう。オーナーは銃殺された後、巨岩の下敷きにされた」

千里 「順番が逆だった、ということはないですか？」

東郷 「ないと断言していい。生活反応というのがあって、死後にできた傷は判別できる。^{じゅうそう}銃創が先、下敷きが後だ」

千里 「なるほど。では犯人は、わざわざオーナーの死後、死体を巨岩で潰^{つぶ}した訳ですか……」

東郷 「問題はもう 1 つある。あくまで推理なんだが、オーナーはここじゃない別の場所で殺されたんじゃないか？ とすると、運べない巨岩に加えて、運べない死体の問題も出てきちゃう」

千里 「確かに、オーナーは【元力士で肥満体型】。体重は 200 キロぐらいでしょうか。他の場所からここに運んでくるのは無理そうですね。でも、どうして別の場所で殺されたなんて考えたんです？」

東郷 「手足が綺麗すぎるんだ。ここはほら、この通りごつごつした岩場地帯だろう。もしここで撃ち殺されて、地面に倒れ込んだとするなら、手足に倒れたときにできた怪我の 1 つでもあるはずじゃないか？ それがないってことは、きっとあっちの砂浜みたいな、砂が【クッション】になる場所で殺されたんだ」

▼推理開始

ここから推理開始です。

まずはチュートリアルとして、東郷の考えが正しいのか推理してみましょう。

推理は、以下の文章の空欄に**キーワード**を埋めることで行います。

キーワードには以下の2種類があります。

- 証拠カードにカーソルを合わせることで確認できる言葉
- 資料の【 】に囲まれた赤文字の言葉

推理1. 1：被害者はどこで殺されたのか？

東郷の推理は正しいとは言い切れない。何故なら被害者が岩場で殺されたとしても、オーナーは【 】だったので、地面に倒れたときに腹部が【 】の役割を果たした可能性があるからだ。

※チュートリアルの推理は、この資料内にあるキーワードだけで解くことができます。

P Lの推理が完了すれば、GMはその推理が正しいかどうかを判定します。

もし正しければ次のページに進み、正しくなければ先には進まず、もう一度推理し直してください。

※※※※※正しく推理するまでこの先には進まない※※※※※

▼推理継続

では推理を続けましょう。

この推理では、今までの資料にあったキーワードと、証拠カードのキーワードが必要となります。

また【ア／イ／ウ】のような括弧がある場合は、選択肢の中の1つを選んで回答してください。

推理1．2：被害者はどこで殺されたのか？

被害者が殺されたのはこの現場付近【である／ではない】。

何故なら、被害者は【 】から銃殺されているにも関わらず、千里の【 】していないからだ。

※※※※※※正しく推理するまでこの先には進まない※※※※※※

千里の推理

千里 「手足に怪我がないから、クッションとなる砂がある砂浜で殺された。その考えは一理あると思います。ただし、被害者が一般的な人物だったらですが」

東郷 「どういうことだ？」

千里 「オーナーは元力士で肥満体型。撃たれたときにもし前のめりに倒れたとすれば、その脂肪が、つまりお腹がクッションとなって倒れた衝撃を和らげた可能性があります。その結果、手足を負傷せずに済んだ。お腹には傷が残ったかもしれませんが、それも今は巨岩に潰されて確認できません」

東郷 「つまり、倒れ方によっては手足を怪我しない可能性は十分にあった、ということか。なら運べそうにないこの^{きょかん}巨漢だ。普通に、この場で殺されたと考えるべきか？」

千里 「いえ。どう運んだのかは不明ですが、殺されたのはここではないと思います。至近距離からの発砲で被害者がこの場所で殺されたのなら、犯人もこの付近にいたはずです。しかし現場を調べ回ったのに、サイコメトリーが発動しませんでした。だから、別の場所で殺されたとみてほぼ間違いありません」

サイコメトリーの発動条件は2つ。

1つは、死と破壊を引き起こした本人に明確な自覚があったこと。頭を銃で撃っているのだから、これはほぼ間違いなく満たしている。

もう1つは、死と破壊を引き起こした本人がいた場所に立つこと。つまり犯行時に犯人がいた場所に立つことだ。

サイコメトリーが発動しなかった以上、2つ目の条件は満たされなかったと考えるしかない。つまり犯行現場はここではないのだ。

東郷 「なるほど、流石だな。ただ……細かいところを確認してもいいか。ほ・ぼ・間・違・い・な・い・っ・て・い・う・の・は、どういことだ？」

千里 「サイコメトリーの1つ目の条件には例外があるからです。例えば、誰かが蚊^かを殺してもこの能力は発動しません。蚊を殺した本人が、蚊を重要な対象^{とら}と捉えていないからです」

千里の能力が発動するには、死と破壊を引き起こした本人が、死と破壊が起きる対象を重要なものと捉えていなければならない。

東郷 「つまり……人間を虫けらのように考えている殺人鬼なら、
ざんりゅうしねん
残留思念を読み取れない可能性があるってことか」

千里 「ほとんどないとは思いますがね。今まで対峙^{たいじ}したシリアルキラー達からも、サイコメトリーはできましたし。あとは逆に、人でなく物であっても、本人が重要と捉えていればサイコメトリーはできます」

東郷 「高級な壺^{つぼ}を割っちゃった、みたいなケースだな。ちなみに、
そんかい
死体損壊はどうだ？ 巨岩で死体を押し潰^{つぶ}したんだ、思念が残っていても良さそうなものだが」

千里 「死体損壊は半々、という感じですかね。経験則で言えば、本人の宗教観によるみたいです。死んだらただの物体、と考える人なら、思念は読み取れません」

東郷 「なるほど。他に条件はあるか？」

千里 「一応、制限時間があります。サイコメトリーができるのは、その思念が残されてからだいたい24時間以内。でも、これは今回は関係なさそうですね」

千里と東郷は、21時にオーナーに就寝の挨拶をしている。最大でも、まだ死後8時間ほどこしか経っていない。

東郷 「よし。状況も確認できたし、いったんコテージに戻るか。他の4人からも証言を聞きたい」

千里 「はい、そうしましょう」

▼捜査再開

ここから捜査再開となります。

証拠カード「**宿の探索**」を調べてコテージを捜査し、「**〇〇の証言**」を調べて事情聴取を行いましょう。

計12枚すべて調べ終われば、資料「**推理 II**」を公開してください。

1. 証拠カード「宿の探索」4枚「〇〇の証言」8枚を調査
2. 資料「推理 II」を公開（推理開始）